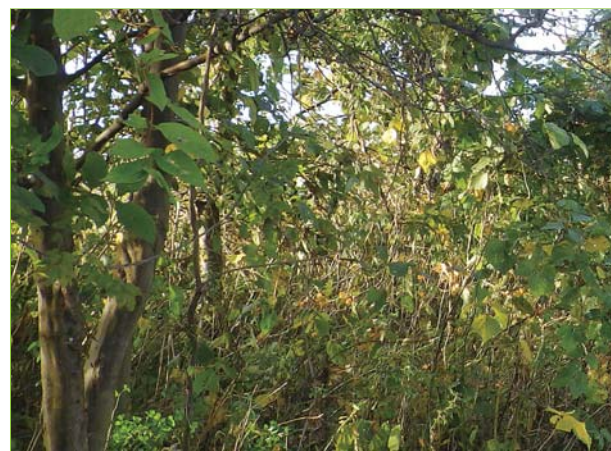


野鳥の生息環境として



ヨシの草原

河北潟干拓地は、自然の状態ではヨシ原になります。湿地帯に群生するイネ科の多年草「ヨシ」と共生する野鳥はたくさんいます。防風林帯でも、ヨシに営巣するオオヨシキリやヨシゴイ、ヨシキリに托卵するカッコウ、冬のヨシ原で餌をとるオオジュリンなどがみられます。猛禽類のチュウヒには広いヨシ原が必要です。河北潟の野鳥にとって重要な環境です。



藪

ノイバラやヨモギ、イネ科の草などが茂っている場所は、モズやメジロ、ホオジロの仲間やウグイスなど、小さな鳥たちの逃げ場所や隠れ場所、営巣環境となっています。草木が茂っていると見た目の悪さから整備の対象になりますが、あえて残すこともこれからは必要です。藪の中にはアケビやタラノキやヤマノイモなど、人にとっても嬉しい有用植物も自生しています。



樹林

河北潟干拓地が誕生して約 45 年、防風林帯や農地の境界などに植栽された樹木、どこからか種がとんできて定着した樹木が育っています。高い木の天辺には、猛禽類がとまって餌をねらっています。アカゲラやコゲラなどのキツツキが枝や幹にいる虫を食べにきています。サメビタキやジョウビタキ、ツグミの仲間が林のまわりにいる虫をたくさん食べています。

河北潟干拓地



農地の野生生物

野鳥

持続可能な河北潟干拓地農業において

グリーン・アース農地・水・環境保全組織

2016 年 3 月発行

〒929-0328 石川県河北郡津幡町字湖東 395 Tel 076-288-4424 E-mail qa@k-kantaku.com

制作 NPO法人河北潟湖沼研究所 <http://kahokugata.sakura.ne.jp/fram.html>



むし 虫も食べる野鳥たち



タゲリ

ふわふわと羽ばたいて飛翔し、群れで農耕地に飛来して虫などを食べる。冬鳥として渡来する。



ケリ

DD

畦などの地面に草を敷いて産卵する。「ケリケリケリケリ」と鳴いて縄張りに近づくものを追い払う。



モズ

畑や果樹園などで上手に虫を捕まえる。周りから見えにくい草木の茂った場所に営巣する。



シジュウカラ

ちょこまかと飛翔して、木や草についている虫などを食べる。小さな穴や隙間に営巣する。



オオヨシキリ

減

ヨシ原に生息し、ヨシの茎にお椀状の巣をかけ、春～夏に産卵する。夏鳥として渡来する。



ハクセキレイ

尾を上下に動かしながら、畑や農道沿いを歩いて、虫などを捕まえて食べる。少しの隙間に営巣する。

ねずみ 鼠も食べる猛禽類



チュウヒ

EN CR+EN 県希 減 環

ヨシ原などの地上に営巣する。河北潟で繁殖する個体が減少している。

希 注



ノスリ

NT

樹木や、電柱など高いところにとまって、地面にいるネズミを狙う。干拓地で越冬する個体が多い。



チョウゲンボウ

水田、畑、牧草地、麦畑などで、羽ばたいて空中の一点にとまって獲物を狙う姿がよくみられる。

凡例 レッドリストランク

- EN 絶滅危惧ⅠB類／環境省指定
- DD 情報不足／環境省指定
- CR+EN 絶滅危惧Ⅰ類／石川県指定
- NT 準絶滅危惧／石川県指定
- 県希 石川県指定希少野生動植物種

河北潟レッドリスト

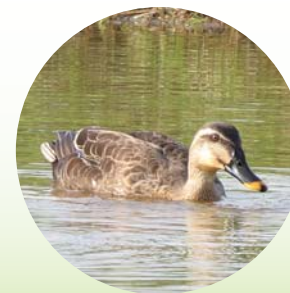
- 減 減少 かつて河北潟に数多く生息していたが、その後減少・激減した種
- 環 環境 生息に適した環境が急激に失われている種
- 希 希少 分布が限られている種
- 注 注目 河北潟に特徴的な種、その他注目すべき種

自然環境の保全と、害鳥が増えることは別！

野鳥の生息環境が保全されると、野鳥が増えて農作物の食害が拡大すると思われる方も少なくありませんが、保全対象となるヨシ原や雑木林や湿地などの環境には、虫などを食べる動物食の野鳥が多く見られます。一方、人工的に整備された公園や宅地などが増え市街地化がすすんだところでは、都市鳥とよばれる都市に適応した野鳥が現れます。全国的にカルガモ、ヒヨドリ、ムクドリ、キジバト、ハシブトガラスなどがみられますが、雑食性で適応力のある種類です。食害で問題となる野鳥は、雑食性の種類が多く、自然を守りバランスの良い生態系を保つことが重要です。



ヒヨドリ



カルガモ